

D-11 No.1

1) 情報伝達

1. 対 学生
2. 対 教職員
3. 対 保護者

各々に見合った
ツールを用いて
情報発信したい。

- ・ SNSは教育的にどうなのか。
- ・ 教職員のスキルの差

2) 業務の効率化

紙媒体による決裁が遅い

- ・ 電子化し、
遠隔地でも迅速な意思決定を
可能にしたい
- ・ データ保管状況

- ・ 伝統重視
- ・ 予算
- ・ 教育的観点

3) ニーズに合ったシステム構築

- ・ 誰のためのシステムが分からない
- ・ 学内 Wi-fi
- ・ 教科書講入システム

他部署との密な連携を図り
作成側にも使用側にも
必要なシステムを取り入れたい。

- ・ 職員のスキル不足
- ・ 導入意図の曖昧さ
- ・ 周知不足
- ・ ニーズを分かっていない
- ・ 他部署との連携不足

D-11 No.2

〈実施施策〉

学生への情報伝達が問題

- 現状
 - 学生がメールやポータルを見ない
 - 限られた情報しか見ない
 - ポータル内にある情報を理解してない

- 要因
- 時代に伴った情報ツールの変化
 - 情報提供の場の複雑化
 - 学生のニーズに合った情報が少ない

改善のためには...

- ① 時代に合ったツールの開発
- ② 情報ツールの一本化
- ③ ニーズに合った情報提供
(+α 学生生活、就職活動)

★アプリ開発

- ・就職支援(動向分析)
- ・出欠管理
- ・課題・コメント
- ・学生基本情報
- ・教職員との連絡手段
- ・課外活動評価
- ・健康診断結果
- ・履修情報
- ・休講・補講

- ・カテゴリ別の興味傾向
- ・性格診断
- ・OBの活動履歴・傾向

- ・通知 ← 退学率の低下
- ・アプリの使用率向上
- ・出席履歴

- ・入学・卒業年度
- ・所属(学部学科 ゼミ 部活)
- ・資格

- ・評価・コメント(教職員より)
- 客観的評価
- 自己分析につなげる
- ・大会結果(役職・ポジション)



学生の情報収集の積極性を上げる